

監修: (財) 市民防災研究所

幼児・小学校低学年向け防火教育アニメーション

DVD【カラー・14分】



やめて!



ライターあそび

むら しょう たい しゅつ
どうぶつ村の消ぼう隊 出どう



企画意図

子供の火遊びが原因で起こる火災が、毎年、相次いで起こっています。その大半が、ライターやマッチ、花火によるものです。特に、近年、ライターによる火災が相次ぎ、幼い子供の命が奪われる悲慘なニュースが、大きな社会問題となりました。そして、使い捨てライターにチャイルドレジスタンス(CR)機能を義務づけることになりました。しかし、ライターの安全対策だけが進んでも、子供に火災の怖さを身につけさせておかなければ、子供の火遊びによる火災を根絶することにはつながりません。

そこで、この作品では、火の扱い方、火の恐ろしさを知ってもらうため、子供たちが興味深く、親しみをもって見るアニメーションで、『火遊びは絶対やめよう!』と、強く訴えるものです。

映学社・リバティシブ作品

作品の概要

■森の広場で火事だ！サル消防隊、出動！

季節は秋。サル太郎は友達と森の広場で元気にボール遊びをしていた。

と、横の茂みから、煙が立ち上っているのを発見。「火事だ！火事だ！森の広場で煙が出てるよ！」サル太郎の機転で、消防隊が駆けつけ、すばやい消火作業で、無事に火は消えた。

ところが火元となった、たき火の跡には、子供のゲーム機とライターが落ちていた。どうぶつ村の山火事は、街の子供の火遊びで起こる事が多い。「よし！火遊びの怖さを教えてあげなくちゃ！」サル太郎たちは街の子供を探しに出かる。手掛かりはゲーム機に記載されていた「マチノタケオ」の名前。

やっとの事で「マチノタケオ」を探し出したサル太郎たち。山火事の恐さを説明して、「火遊びはやめて！」と強く訴える。

■寒い季節になると起こる火災 原因は？

季節は冬。どうぶつ村の集会場では、消防隊長さんが子供たちに火災の原因について教えている。ストーブ、アイロン、コンロ…そして危険なのがライターだ。消防隊長さんは、車の中で留守番していた子供がライター遊びをしていて命を落とした悲しいニュースを取り上げ、絶対にライター遊びをしないようにと強く訴える。

■河原で子供たちが火に包まれた！

季節は夏。夕方、河原では街の子供たちが、花火遊びを始めようとしていた。

「やっぱり止めよう…」「お母さん、呼んでこよう…」乗り気でなかった子供も、花火の綺麗さに不安を忘れて、つつい夢中になってしまった。

と、強い風が吹いて、火が落ちていた雑誌に燃え移り、次第に大きな炎に……子供たちは、あつという間に炎に囲まれてしまった。

「こわいよ！助けて！」それに気づいたサル太郎たち、急いで河原に駆けつけた。

通報でどうぶつ村の消防隊も河原に到着。必死の消火作業で火事を消し止め、子供たちは助け出された。消防隊長さんは、街の子供たちに厳重に注意する。「子供たちだけで花火をやらないこと。水を入れたバケツを用意して、使った花火は、そこに入れてね！」

サル太郎と消防隊長さんに注意されて、街の子供は、すっかり反省する。「もう二度と、子供たちだけで花火はしません。ごめんなさい」

■お父さん、お母さんへのメッセージコーナー

- ・火事のニュースが流れていたら、子供に火の恐ろしさを教えてください。
- ・子供にライターなどを触らせないで下さい。
- ・ライターで遊んでいたら直ぐ止めさせて下さい。
- ・子供の手の届くところには、ライターを置かないようにして下さい——

と、保護者にも強く訴える。

監 修 財団法人 市民防災研究所

制作・監督 高木 裕己

制作・脚本 藤井 正和

アニメ演出・コンポジット:佐藤豊/原画:狩夢バヤッド・正延宏三/音楽:加藤由美子/効果:島田高史/動画:黒川富沙子・吉野里枝・松岡香織・生井智子/背景:平林亮/彩色:伊勢智寿美/本編集:正者章子/声の出演:永澤菜穂・勝沼紀義・大室佳奈・中村勇祐・さとう実琴

制作・著作 株式会社映学社
株式会社リバティシップ

■DVD[カラー・14分]

- ・ライブラリー価格 ¥65,000+税
- ・学校価格 ¥33,000+税
- ・2011年・映学社・リバティシップ作品



株式会社 映学社

EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……